

トマス・ムア

4 小さな男と小さな魂

バラッド

「小さな男が小さな娘に求婚した」の曲にのせて

チャールズ・アボット氏に捧ぐ

—どちらのアルカディア人も

ともに唄に長けていた—

小さな魂をもつ小さな男がいた

「小さな魂よ 試そうではないか

ちょっとしたスピーチを

つくれるかどうか

小さなお前と小さな俺とで

5

小さなお前と小さな俺とで」

すると小さな魂が

小さな穴からのぞきながら言った

「小さな男よ あなたは大胆ね

もし不躰でないなら教えてちょうだい

10

一体ぜんたい

何についてのスピーチをするの

何についてのスピーチをするの」

小さな男は大きく見えた

頭にのせた鬘かつらのおかげ

15

彼は小さな魂に何度も頼んだ

魂がトマス・クログガンのように

監禁されるのではと恐れるほど

(公爵でも伯爵でもなかったから) 仕返しだと

公爵でも伯爵でもなかったから仕返しだと

20

小さな男はこう言った

「小さな魂よ これは冗談ではないぞ

ジャッキー・フラーが酒を愛するのと同じくらい確かに

俺は国王と国民に伝えたいのだ
教会のとんがり屋根について思うところを 25
そしてそれを立て直す俺のちょっとした斬新な再建案を
それを立て直す俺のちょっとした斬新な再建案を」

そうして二人は揃って出発した
小さな男と小さな魂は
一緒にごによごによと虫の鳴くようなスピーチを行った 30
世間では皆が口々に言う
この気難しい小さなペアは
生涯これほど小さく見えることはなかったと
生涯これほど小さく見えることはなかったと

(三木菜緒美訳)